

ごみの減量にチャレンジ！

プラ製品リサイクル

令和6年4月から、プラスチック製容器包装類に加え、プラスチック製品類も資源ごみとして回収しています。

100%プラスチック素材で、最長部が20センチ以内のものが対象です。ハンガーは長さ20センチを超えるものでも出すことができます。農業や事業用のプラスチック類は対象外です。

紙や布類を分ける

「ごみは混ぜればごみ、分ければ資源」という意識を持つことが大切です。

お菓子の箱、包装紙、紙パックなどの紙類やシャツ、タオルなどの布類が可燃ごみとして大量に処理されています。紙や布類は資源化できます。少量だからといって可燃ごみとして出さずに分別しましょう。

小型家電をリサイクル

ご家庭で不要になった携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機、ノートパソコンなどの小型家電には、金、銀、銅などの金属が使われています。希少な資源をリサイクルするために、各総合支所などに専用回収ボックスを設置していますので、回収にご協力ください。



生ごみの減量

生ごみを水切りすることでごみを減量化することができ、ごみの焼却に伴う燃料費や二酸化炭素排出量の削減につながります。

また、食べきれない食品を、市役所南方庁舎やスマイルむさしなどで実施しているフードバンクに寄贈することで、食品ロスの削減や生活に困っている人の支援につながります。

Interview ゴミ収集の現場から



クリーンセンター
半澤 裕一 管理係長

リサイクルの意識を高め
資源ごみの分別を

資源ごみの回収を進め
地域の環境を守りたい

赤沼婦人部 部長
飯塚 信子 さん



近年、社会的にリサイクルへの意識が高まっています。市では、行政区や団体などを対象に、職員が出向いて分別方法などについて説明する出張市役所も実施しています。

また、クリーンセンターでは、皆さんから集めた資源ごみのほか、ごみを焼却する熱を利用して発電した電気も売却しています。環境問題やエネルギー削減に取り組みながら財源の確保にも努めていますので、今後も資源ごみの分別をお願いします。

赤沼婦人部では、平成23年から資源ごみの回収に取り組んでいます。現在は、6月と11月に、部員が各家庭で日頃から分別していた資源ごみを持ち寄ってリサイクル活動をしています。

事前に登録して資源ごみを回収した団体には、市が報奨金を交付しているため、その制度を活用して公民館への備品の寄贈や、ごみの資源化の啓発に取り組んでいます。今後も、地域の環境を良くしていくために活動を続けていきたいと考えています。

【問い合わせ】▶資源ごみ回収の報奨金に関すること=環境事業所廃棄物対策課(廃棄物対策係) ☎ 0220(58)2115
▶ごみの出し方などに関すること=環境事業所クリーンセンター(管理係) ☎ 0225(76)0102



減らそう 可燃ごみ

人が生活する上で必ず発生するごみ。そのうちの多くを占める可燃ごみを減らすことによって、私たちにとってさまざまなメリットがあります。

市民一人当たりのごみの排出量が増加傾向に

登米市民一人当たりが1日に排出するごみの量は、平成29年度が平均で827グラムだったのに対し、令和4年度には899グラムと増加。ごみ全体の中でも、焼却処理する可燃ごみの割合は約85パーセントを占めている状況です。

また、廃棄物のうち、再資源化されたごみの量の割合を示す本市のリサイクル率は、平成29年度が25.1パーセントで、令和4年度は25.2パーセント。宮城県平均の22.8パーセントよりは高いものの、リサイクルが進んでいない状況です。

可燃ごみを減らすことでさまざまな負担を軽減

ごみの分別は、処理に係る経費の削減や、環境の保護につながる身近で効果的な取り組みです。令和4年度のごみの処理費は約4億円。排出量に比例して増減します。ごみの出し方を工夫して可燃ごみを減らすことで、ごみ袋購入費や処理費を抑えることができます。資源ごみであるペットボトルやアルミ缶、紙類、布類などは、

集めた後に売却するので市の財源になります。

また、金属類や小型家電などを可燃ごみとして出すと、収集車や処理施設の故障につながる可能性があるため、分別することにより修繕費などの経費を抑えることにもなります。さらに、焼却処理による二酸化炭素の排出量も少なくなるので、環境負荷を低減することができます。さまざまな負担の軽減につながります。

持続可能な社会を目指して

資源循環型の持続可能な社会にしていくなためには、一人一人がリサイクルや環境問題について考えることが大切です。この機会に、ごみ袋の中身を見直してみましよう。

市公式LINEで確認

市公式LINEから、家庭ごみの出し方や、収集カレンダーなどが確認できます。また、粗大ごみ収集の申し込みもできますので、ぜひ登録してご利用ください。



←市公式LINE(下部メニューの「ゴミ・リサイクル」から確認してください)